

「死刑に異議あり！」キャンペーン シンボルマークデザイン

「死刑に異議あり！」キャンペーン シンボルマークデザインについて

「死刑に異議あり！」キャンペーンは、社団法人アムネスティ・インターナショナル日本 NPO 法人監獄人権センターを呼びかけ団体として始まり、発足 1 周年にあたる今回、より一層キャンペーンを推進するために、シンボルマーク（Visual Identity）を作成いたしました。このシンボルマークはキャンペーン活動を示すサインとして、視覚的伝達上に重要な役割を担うと考えております。

本マニュアルは、キャンペーンシンボルマークの多様な使用を前提の上での、統一感を維持するため使用上の規則を記述しております。

本マニュアルを参照し、印刷物、WEBなどで「死刑に異議あり！」キャンペーンの有効なコミュニケーション手段として、シンボルマーク（Visual Identity）をご利用ください。尚、キャンペーンシンボルマークの著作権は、キャンペーン推進会議に帰属いたします。

001 シンボルマークについて

シンボルマークの意味は、絞首ロープを断ち切るように、世界で執行されている死刑を今すぐにでも廃止したいという願いと、死刑廃止に向けて、白鳥のように羽ばたいてほしいとする想いをイメージしております。



003 シンボルマークの反転表示

反転表示例：シンボルマーク(ホワイト色)



004 デザインエレメント

■ シンボルマーク



■ ロゴタイプ

ABOLISH THE DEATH PENALTY

WE CAN DO WITHOUT THE DEATH PENALTY

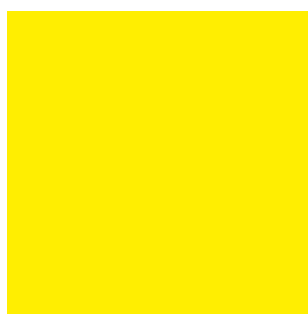
■ VI (シンボルマーク) 基本カラー



BLACK



WHITE



PANTONE YELLOW C



PANTONE 375 C

005 シンボルマーク + ログタイプ

■ シンボルマーク + ログタイプ組合せ例



ABOLISH THE DEATH PENALTY



006 シンボルマーク + ロゴタイプ

■ シンボルマーク + ロゴタイプ組合せ例 (カラー)



**ABOLISH
THE
DEATH
PENALTY**



ABOLISH THE DEATH PENALTY



ABOLISH THE DEATH PENALTY

